



## 1

# 内部被ばく検査の結果は？

## 最近3年間では放射性セシウムの検出はありません

昨年度は、309人の方に内部被ばく検査（ホールボディ・カウンタ）を受けていただきました。その結果、放射性セシウムは検出されませんでした。

平成24年9月から昨年度末までの検査結果をみると、のべ3,420人のうち224名（約6.5%）の方から放射性セシウムが検出されましたが、すべての方の預託実効線量が1 mSv 未満でした\*。

※預託実効線量……成人で50年間、子供で70歳までの内部被ばく量の合計を計算したものです。

## ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査結果 (平成24年度～平成31年度)

(単位：人)

年 度	受検者数	検出者数
平成24年度 <sup>※1</sup>	1,163	137
平成25年度	432	58
平成26年度	259	12
平成27年度	280	8
平成28年度	343	9
平成29年度	330	0
平成30年度	304	0
平成31年度 <sup>※2</sup>	309	0
延べ人数	3,420	224

※1・・・平成24年度9月よりホールボディ・カウンタ測定開始。

※2・・・5月より令和元年度。

# ホールボディ・カウンタでの測定の 流れを紹介します。

受診表(氏名、年齢等)、同意書を記入していただきます。

- 体の表面に汚染がないかを検査します。
- WBC 測定器の中に入ります。
- 測定開始。(測定時間約2分。)
- 測定終了。
- 測定結果は、終了時に口頭でお知らせします。
- 後日、詳細な測定結果を郵送します。



(測定中の様子)

※WBC 測定の一連の流れは、約5分で終了します。

## 内部被ばく検査場所について

	受付時間	月	火	水	木	金	土	備考
保健 センター	午前9時～ 正午	●	●	●	●	●	①	①：第2, 4土曜日のみ実施。 木曜日までに予約が必要。 ②：月曜日までに予約が必要。
	午後1時～ 午後5時	●	●	●	●	●	—	
	午後5時～ 午後6時30分	—	②	—	—	—	—	事業などの都合で実施できない 時間帯がありますので、事前 にご確認ください。



検査を希望される場合は、保健センター(0240-27-3040)へ  
ご連絡下さい。

## 食品のモニタリング結果総括表 (令和2年5月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	7	7	0	
根菜・芋類	-	-	-	
山菜・きのこ	26	19	7	タケノコ、ゼンマイ、コシアブラ
果物	-	-	-	
穀類	-	-	-	
種実類	-	-	-	
魚介類	-	-	-	
加工食品	5	5	0	
飲料水	-	-	-	
その他(肉類など)	3	2	1	猪肉
総検査数	41	33	8	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。



右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。

場 所	公民館1階 放射能簡易分析センター
曜 日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前8時30分～午後4時30分まで

## 広野町各地区の放射線量

令和2年6月15日13時30分現在(天候:晴)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)	測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)
広野小学校	0.09	広野町役場	0.10
広野中学校	0.08	高速バス利用者駐車場	0.15
広洋台地区集会所	0.11	上田郷橋付近 <sup>注1</sup>	0.13
二ツ沼公園 <sup>注2</sup>	0.08	北沢複合交差点	0.14
長畑地区集会所	0.11	県道広野～小高線沿	0.14
小滝平浄水場 <sup>注2</sup>	0.08	仮置場	0.08

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではn Gy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 $\mu$ Sv/h(マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。

# 放射線健康対策委員会からの放射線に関するコラム

## ウイルスと放射線

福島県立医科大学医学部放射線物理化学講座 教授 石川 徹夫

この数ヶ月の間、世界は新型コロナウイルスの脅威にさらされています。日本でも4月には1日あたりの新規感染者が数百人にも達し、福島県でも累計で数十人という感染者が見つかりました。今でも油断はできませんが、何とか少しずつ日常が戻ってきている感じがします。

ウイルスは目に見えませんが、身近にあるかどうかを簡単に検知できるものでもありません。この数ヶ月の間、熱が出たり、体がだるかったりした方は新型コロナウイルス感染症にかかったのではないかとさぞかし不安だったことと思います。

一方で、目に見えないという点では放射線も同じです。しかし違う点は、放射線は比較的簡単に検知でき、その量を数値で表すことができる点だと思います。自分の体の中にセシウムが入っていないだろうかと不安な方は、ホールボディ・カウンタという装置によって体内にセシウムが取り込まれているかどうかを検査することができます。山で取ってきたキノコに含まれる放射能は大丈夫だろうかと不安な方は、食品検査場にキノコを持ち込んで検査することができます。また普段暮らしている環境で外部被ばくについて心配な方は、個人線量計で被ばく線量を測定することができます。

このように放射線は比較的簡単に測定でき、測定のための道具も町内に備えられています。目に見えない放射線に少しでも不安を持っていらっしゃる方は、このような道具で放射線を測定し、そのレベルを確認することをお勧めしたいと思います。

目に見えない新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ続きそうですが、目に見えない放射線のことを心のどこかにまだ引っかかっている方がいましたら、どうぞ一度放射線を測定してみてくださいと思います。

発行者

広野町放射線相談室

080-9252-4773

広野町健康福祉課放射線健康相談係

0240-27-2113